

INVESTORS' GUIDE

The 12th Period

第12期 株主通信

2024年8月1日>2025年7月31日



ごあいさつ

世界経済は底堅い成長を維持しつつも、米国の通商政策の影響やウクライナや中東等での地政学リスクもあり不透明な見通しとなっています。日本経済は、米国の関税政策による輸出企業への影響や物価高による景気後退の懸念はあったものの堅調な企業業績や雇用情勢、物価高に対応する賃上げにも支えられ、ゆるやかな回復がみられる状況となっております。

このようななか、第12期は売上高140億51百万円、営業利益7億5百万円とM&A関連費用の計上等により期初予想を下回ったものの、何れも過去最高、12期連続増収、7期連続の増益を果たすことができました。これは、株式上場以来、より付加価値の高い情報サービスを担えるよう最大限に行ってきた人材投資とM&Aが、既存事業の着実な成長に繋がったことによります。

これもひとえに、株主の皆様始め、携わった全ての皆様のご愛顧、ご支援によるものと厚く御礼申し上げます。

第13期は、売上高168億50百万円、営業利益10億44百万円とさらなる増収増益を予想しており、2030年には売上高300億円、営業利益30億円を目指す、高い目標を掲げます。

世界経済は混沌としていても、レガシー遺産の維新やDX（デジタルトランスフォーメーション）による情報システム需要は着実に高まっており、経済産業省の予測では2030年には約79万人のITエンジニアが

不足すると予測されていることから、IT業界の需要は確実にあると考えております。このような状況に対応するため、採用と育成に対する人材投資を一層に高め、6%の待遇改善を行い技術者の定着性を高め、積極的なM&Aで幅広い技術とサービスを獲得していく所存でございます。

DXに加え、生成AIへの対応、脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現に向けた取り組み等で、より一層に情報システム需要は高まると予想しております。さらなる成長を目指し、一歩ずつ着実に進んで参りますので、より一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう、深くお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼社長



グローバル情報技術で笑顔を創る
株式会社 SYSホールディングス



証券コード：3988

事業の概況

Business Highlight

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国関税政策による輸出企業への影響や物価高等による景気後退の懸念はあったものの、堅調な企業業績や雇用情勢にも支えられ、ゆるやかな回復がみられました。しかしながら、米国の通商政策の影響やウクライナや中東等の地政学リスクもあり、先行きは不透明な見通しとなっています。

当社グループが属する情報サービス産業においては、総務省の「サービス産業動態統計調査」によると2025年6月の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比8.4%増となり39か月連続の増加となりました。

このような経済状況のなか当社グループは、新規受注の獲得や、顧客からの信頼を獲得し、リスクが低く安定した収益が期待できるリピートオーダーの提案・受注に努めました。

それらの結果、前連結会計年度及び当連結会計年度のM&Aによる新規連結子会社の増加や、社会情報インフラ・ソリューションの顧客からの受注が堅調に推移したこと、技術者の稼働人数が増加したこと等が売上高増加の要因と

なり、過去最高の売上高になりました。

M&A関連費用が前期比で47,550千円増加したことや、従業員の待遇改善による人件費の増加、一部の不採算プロジェクトによる利益の減少があったものの、売上高の増加等により営業利益が増加しました。しかし、国際情勢の変化により、為替差損益が前期比で30,904千円減少したこと等により営業外損益が減少し、経常利益が減少しました。また特別損失として、減損損失や当社連結子会社である株式会社エスワイシステムの東京事業所の移転にともなう固定資産除却損を計上したこと等により親会社株主に帰属する当期純利益が減少しました。

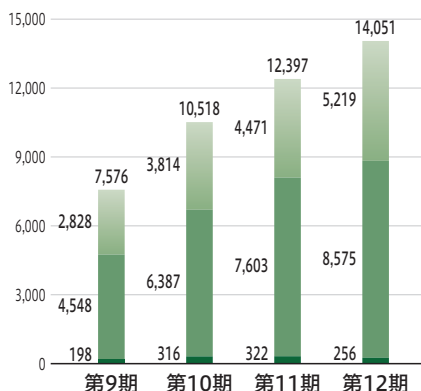
以上の要因により、当連結会計年度における連結業績は、売上高14,051,094千円(前期比13.3%増)、営業利益705,229千円(前期比3.0%増)、経常利益732,913千円(前期比1.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益423,426千円(前期比10.2%減)となりました。

業績ハイライト

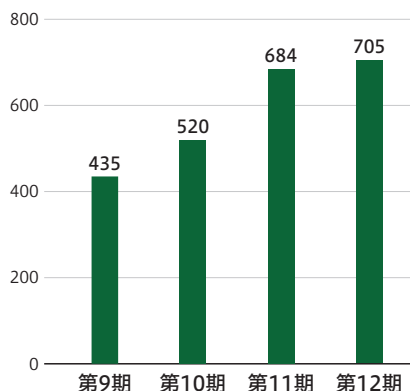
Financial Highlight

売上高 (単位: 百万円)

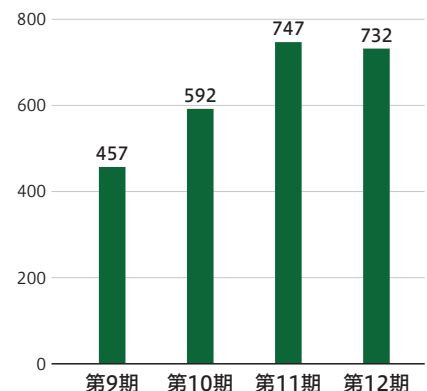
■ グローバル製造業ソリューション
■ 社会情報インフラ・ソリューション
■ モバイル・ソリューション



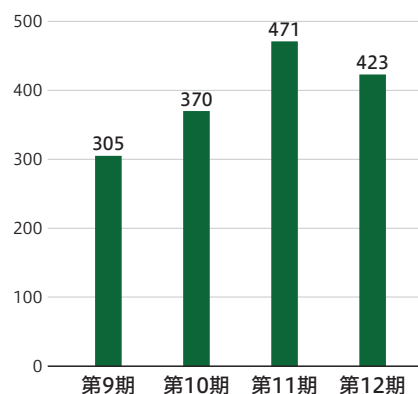
営業利益 (単位: 百万円)



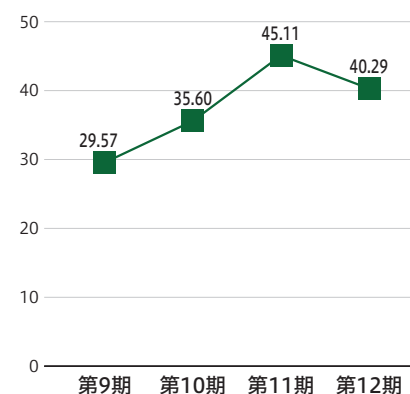
経常利益 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)

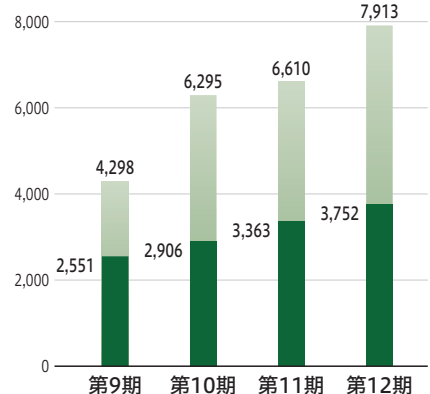


一株当たり当期純利益 (単位: 円)



純資産/総資産 (単位: 百万円)

■ 純資産 ■ 総資産



※2022年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、また、2024年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、第9期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、一株当たり当期純利益を算定しております。
※記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

当社グループが属する情報サービス産業については、米国の関税政策により輸出産業の投資抑制や見直しのリスクがあるほか、情報サービス産業に变革がおこりつつあり、生成AIによる開発コスト、期間が縮小され、今まで予算や規模の面で実現しなかった案件の需要が高まり、案件規模も大型化しております。また、規模や予算の面で個別の開発が困難と思われてきたSaaS(注)の絶対的優位が崩れる可能性があると考えております。

また、受注案件の大型化により、中小ソフト会社が苦戦しており、派遣・準委任等を行ういわゆるSES(システムエンジニアリングサービス)専門の企業の

受注ポジションが低下しています。

このような状況のもと、当社グループは、責任ある大型化する案件を受注し、ビジネスパートナー様への発注を進めることで、事業の拡大と収益性の向上を進める方針です。

2026年7月期の連結業績につきましては、売上高16,850百万円(当連結会計年度比19.9%増)、営業利益1,044百万円(当連結会計年度比48.1%増)、経常利益1,018百万円(当連結会計年度比38.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益604百万円(当連結会計年度比42.9%増)と予想しております。

トピックス

Topics

M&Aの実績

M&A23社目 株式会社HTC

2025年5月1日
全株式を取得し子会社化



- 設立/2009年9月
- 所在地/大阪府大阪市、東京都千代田区
- 事業内容/コンピュータシステムの開発、販売、運用
- 売上高/316百万円 ※2024年3月期

M&A24社目 株式会社ラーカイルム

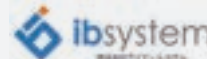
2025年5月1日
同社の情報サービス事業を譲受



- 設立/2025年1月(創業2006年12月)
- 所在地/東京都品川区、神奈川県相模原市愛知県名古屋市、長野県長野市
- 事業内容/コンピュータシステムの開発、販売、運用
- 売上高/348百万円 ※2024年11月期の譲受事業

M&A25社目 株式会社アイブシステム

2025年8月1日
全株式を取得し子会社化



- 設立/1995年6月
- 所在地/新潟県新潟市北区
- 事業内容/コンピュータシステムの開発、販売、運用
- 売上高/417百万円 ※2024年5月期

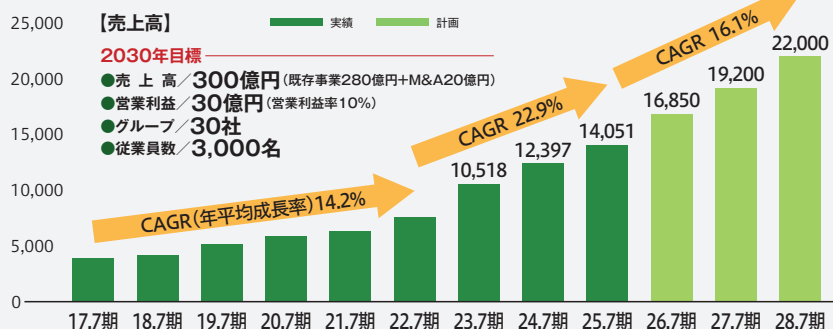
新・中期経営計画(2026年7月期~2028年7月期) SYS Target 2028

SYS Target 2028

SYS Target 2028における連結計数の目標(単位: 百万円)

	'26.7期	'27.7期	'28.7期
売上高	16,850	19,200	22,000
営業利益	1,044	1,210	1,500
経常利益	1,018	1,190	1,480
親会社株主に帰属する当期純利益	604	713	920
ROE	15.1%	15.5%	17.3%

SYS Target 2028における連結計数の推移(単位: 百万円)



若手女性社員の活躍

抜擢登用で女性管理者、PM、PL多数誕生



■プロジェクトリーダー(PL)

未経験で入社し、ちょうど2年が経過したところですが、現在はPLとして案件を進めており、サブリーダーという役割も担っています。エスワイシステムは、若手にも挑戦する機会を与えてくださり、その挑戦を周りの上司や先輩方がサポートしてくださいます。今後機会があれば、様々なことに挑戦して行きたいと思っています。



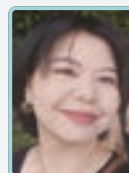
■部長代理

仕事を楽しくしている人を目指しています。得意の深掘りでの目の前の問題の解決策を導き出し、積極的に新しいことに挑戦することで、組織を盛り上げていきます。自分を含め、携わる全ての人が楽しく仕事できる環境作りを心掛けていきます。



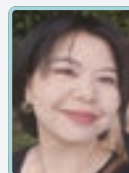
■プロジェクトリーダー(PL)

採用・教育・障がい者雇用のPLを担当しております。関わる全ての人が自分らしく挑戦し、活躍できる環境を築いていきたいと考えています。そして働く楽しさと「入社して良かった」と実感できる職場づくりに努めています。



■マネージャー

お客様のご要望やチームの意見をまとめるコミュニケーション力が強みです。それぞれの視点に立って問題解決に向け最適な提案・進行ができます。最終判断は責任をもって行いますが、それに至るまでチームに関わるメンバーの意見を広く集めるように心がけています。



会社概要 (2025年7月31日現在)

会 社 名	株式会社SYSホールディングス
英 訳 名	SYS Holdings Co., Ltd.
所 在 地	愛知県名古屋市中区代官町35番16号
設 立	2013 (平成25) 年8月1日
資 本 金	417,994千円
従 業 員 数	1,669名 (グループ含む)

連 結 子 会 社

(株)エスワイスシステム
(株)SYI
(株)エス・ケイ
(株)総合システムリサーチ
(株)グローバル・インフォメーション・テクノロジー
(株)テクノフュージョン
(株)オルグ
サイバーネックス(株)
(株)レゾナント・コミュニケーションズ
(株)スレッドアンドハーフ
(株)ネットパーク21
つくばソフトウェアエンジニアリング(株)
(株)アイガ
シー・アイ・システム(株)
(株)マリオン
(株)ラーカイルム
(株)HTC
PT.SYS INDONESIA
THAI SOFTWARE ENGINEERING CO., LTD.

役 員 (2025年10月29日現在)

代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長	鈴 木 裕 紀
取 締 役 専 務 執 行 役 員	後 藤 大 祐
取 締 役	玉 本 真 也
取 締 役 執 行 役 員	風 間 哲 也
取 締 役 (社 外)	岩 田 則 子
取 締 役 常 勤 監 査 等 委 員	堀 江 克 由
取 締 役 監 査 等 委 員 (社 外)	森 戸 尉 之
取 締 役 監 査 等 委 員 (社 外)	深 井 貴 伸

株式の状況 (2025年7月31日現在)

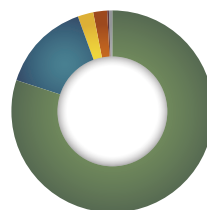
発 行 可 能 株 式 総 数	32,000,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	10,582,939株
株 主 数	1,717名

大株主 (2025年7月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
鈴木 裕紀	3,925,071	37.26
安田 鉄也	1,446,038	13.72
三井住友信託銀行株式会社(信託口 甲20号)	1,292,548	12.27
Syshdグループ従業員持株会	841,700	7.99
光通信株式会社	200,400	1.90
DAIWA CM SINGAPORE LTD-NOMINEE KATO TOMOHISA	176,600	1.67
石村 藤夫	110,200	1.04
長崎 純一	106,000	1.00
瀬戸信用金庫	81,600	0.77
株式会社三井住友銀行	80,000	0.75
株式会社百五銀行	80,000	0.75

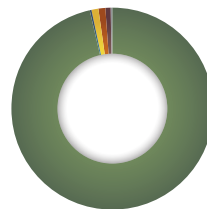
(注)1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 三井住友信託銀行株式会社(信託口 甲20号)1,292,548株は、鈴木裕紀が委託した信託財産であり、信託契約上、議決権の行使については、同氏が指図権を留保しております。

株式分布状況 (2025年7月31日現在)



株式数構成比

個人・その他	8,483,282株	80.16%
金融機関	1,534,748株	14.50%
その他国内法人	245,705株	2.32%
外国人	236,304株	2.23%
金融商品取引業者	33,616株	0.32%
自己名義株式	49,284株	0.47%



株主数構成比

個人・その他	1,659名	96.62%
金融機関	5名	0.29%
その他国内法人	16名	0.93%
外国人	19名	1.11%
金融商品取引業者	17名	0.99%
自己名義株式	1名	0.06%

株主メモ

Information for Shareholders

事 業 年 度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
基 準 日	定時株主総会 7月31日 期末配当 7月31日 中間配当 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定 時 株 主 総 会	毎事業年度終了後3か月以内
単 元 株 式 数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公 告 方 法	電子公告 アドレス: https://www.syshd.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 場 所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。